

世界で活躍する女性リーダーの育成

アクセンチュア株式会社 JWI Global Women's Leadership Project

社員ボランティアの皆様

【パートナー団体:特定非営利活動法人 アイセック・ジャパン】

■活動の目的:

Japan Women's Initiatives Global Leaders Project は、世界で活躍する女性リーダーの輩出を目的としたプログラムです。グローバル企業であるアクセンチュアの社員が講師・メンターとして手を挙げ、スキル講座の開催や学生一人ひとりに寄り添ったメンタリングを実施しています。初めは緊張感ある雰囲気に参加し、初々しさの残る学生がプログラムを通じ、自分の学んだ経験を自分の言葉で語るできるようになります。

■活動を始めたきっかけ(2011年9月開始):

学生向け海外インターンシッププログラムのさらなる展開を求めている特定非営利活動法人アイセック・ジャパン(以下、アイセック)と、I&D(inclusion & Diversity)推進において女性のグローバル・リーダーの育成を重要課題として位置づけていたアクセンチュア。両者の目指すビジョンが一致し、2011年に本プログラムを開始いたしました。第23期生を迎えた現在も、アイセック・ジャパンとアクセンチュアのボランティア社員が協働しプログラムの企画・運営を行っています。

■活動の内容(企業ボランティア実数 111名):

本プログラムでは、将来、リーダーシップを以ってグローバルで活躍する女性の育成を目指し、女子学生に対して、スキル向上に向けたプログラムや、アクセンチュア社員によるメンタリングを提供しています。

新型コロナウイルスが蔓延する以前は、アイセックが年2回(夏・冬)行う約6週間の海外インターンシップに参加する女子学生を対象に、1回2日間、計3回(海外インターンシップの前に2回、インターンシップ後に1回)の合宿を行い、インターン中に与えられる課題を自ら考え、行動を起こすことで克服できるよう、ロジカルシンキング、デザインシンキング、プロジェクトマネジメント、リーダーシップ、グローバルコミュニケーション等のスキル講座を提供しました。

また、講座と並行して、アクセンチュアの社員が学生一人ひとりのメンターとして、インターンシップでの悩みや不安の解決に向け、学生と向き合いながら伴走する支援を行っていました。新型コロナウイルス蔓延以降は、海外インターンシップ自体が見合わせられているため、プログラムをオンラインに切り替え、新しい形を模索しながらも継続しています。スキル講座やアクシ



ヨンプランの策定、メンタリング等、これまでの経験やノウハウを反映させ、時代に即した女子学生の成長へ寄与できるプログラムの開発・運営に努めています。

加えて、これらのプログラム検討・運営については、アイセックの本プログラム事務局(学生)が主体的に考え、主導しながら実施できるよう、アクセンチュアの事務局社員が支援しながら進めています。これにより、プログラムに参加する女子学生だけでなく、アイセックの本プログラム事務局に携わる学生のリーダーシップ育成にも貢献しています。

さらに、女子学生だけでなく、メンターや講師として参加する社員にとっても、本プログラムを通じた学びや刺激は大きく、9割以上の社員がぜひ次回も参加したいと回答しています。これは、社員のこれまでの経験・知見を学生に伝えることで、彼女たちの成長を目に見えて実感できることに加え、不安や悩みを抱えながらも前向きに取り組む姿勢や、学生からの意見・視点からも気づかされることが多く、社員が自分自身を見つめ直すきっかけにもなっていることが要因で、社員から見た時の本プログラムの魅力となっています。

■活動の成果:

2022年度に本プログラムへ参加した女子学生は108名、各種講座の講師や学生のメンティで参加したボランティア社員は111名に上ります。学生と社員が1対1で密にメンタリングを重ねることで、学生はスキルやキャリアマネジメント意識が、ボランティア社員はロールモデルとしての責任感や仕事に対する意識が向上するなど、事後調査において参加者全員のマインドセットへのポジティブな影響が顕著に表れています。

■強調したいこと:

本プログラムは、2010年から延べ約1,000名の女子学生の成長を支え続け、関与したボランティア社員も延べで700名に上ります。

本プログラムは、年2回の海外インターンシップに向けて事前2回、事後1回の合宿を行い、インターンをより有意義にするために必要なロジカルシンキング、デザインシンキング、プロジェクトマネジメント、リーダーシップ等のスキル講座を提供します。同時に、長期にわたり学生一人ひとりのメンターとなり、インターン前・中・後のあらゆる不安や質問に寄り添います。これらの講師・メンターはすべてアクセンチュアのボランティア社員が務めています。

コロナ禍で海外インターンが中断されたこの数年も、アクセンチュア社員の強みであるデジタルの知識と創意工夫でいち早くオンライン化を進め、年間約100名以上の社員が力を合わせ、質を落とすことなく同様のスキル講座・メンタリングを継続することが出来ました。

本プログラムを経て海外インターンから帰国した学生たちは、インターンを通じて学んだこと、感じたことを自分の言葉でしっかり語れるようになり、短期間で人はここまで変わるのかと思うほど成長します。

また、社員も、「知らないうちに忘れてしまった精神性のようなものがあると気が付かされ



ました」、「自分の成長のためにさまざまな年代と言葉を交わすことの必要性に気がつきました」(22期メンター)など、刺激や影響を受けて大きく成長しています。

第8回企業ボランティア・アワード『ユースサポート奨励賞』